



ホームカミングデー2017にて

# 北海道情報大学 同窓会 会報 Vol.15

発行：平成29年12月1日  
北海道情報大学同窓会

今年も元気です  
北海道情報大学

北海道情報大学 学長

澤井 香



同窓生の皆様におかれましてはお元気にご活躍のことと存じます。北海道情報大学も元気です。本学は来年30歳になりますが、ここでは、その元気な様子をいくつかご紹介しましょう。

まず、はじめに、公益財団法人日本高等教育評価機構による大学機関別認証評価を昨年度受審し、今年3月7日付で「大学評価基準に適合している」と認定されました。この認証評価は7年以内ごとに受審することが法律で義務付けられており、大学の教育・研究の質の向上と改善がなされ

ているかが審査されます。7年前に続き、再びお墨付きをいただいたわけでございます。

本学では受託研究の一環として、食材が健康増進や予防医療に有用であるかどうかを科学的根拠に基づいて評価する研究を行っており、それらの中には北海道独自の食品機能性表示“ヘルシーDo”の認定を受けたものも多数ございますが、この研究では、昨年2月に文部科学大臣賞を受賞し、さらに今年3月には北海道科学技術賞を知事からいただきました。

教員も元気です。教育・研究の合間を縫って、道内をはじめとする多くの高校に出前授業に出かけたり、一般市民の方々を対象とした公開講座を実施したり、あるいはまた、江別市内の小学校の要請に応じてレゴで作ったロボットを動かすためのプログラミングを児童に教えたり、いろいろな催しでプロジェクションマッピングを行うなどの地域貢献もしています。

学生も元気です。将来世界で活躍できるグローバル人材を育成するために文部科学省の肝いりで創設されました「トビタテ!留学JAPAN」では、昨年10月から1年間、学生が英国に留学しましたが、今年はその北海道版の「ほっかいどう未来チャレンジ基金学生留学コース」に選ばれ、8月からフィンランドに留学している学生もいます。また、全国規模あるいは全道規模の各種コンテスト等で優秀な成績を収めたり、行政などからの依頼でポスターやCM等を作成したり、あるいは各種イベントで海外の大学生との交流を深めたりなどしています。

最後になりましたが、教育研究振興基金に関しましては、個人様からのご寄付だけでなく、同窓会様からも多額のご寄付をいただき、誠にありがとうございます。今年度は、学生支援、グローバル人材育成支援、及び地域連携支援に総額268万円を使わせていただいております。今後とも、皆様のご理解ご支援を賜り、多くのご寄付をいただけますよう、よろしくお願いいたします。

## 平成30年度は総会・懇親会の開催年度です

3年に1度開催しています総会・懇親会を来年度、札幌・東京で開催します。詳細が決まり次第、同窓会Webサイトでご案内します。また、案内ハガキを郵送しますので、住所変更の届け出をされていない方は、同窓会Webサイト「連絡先変更」のページから現住所の送信をお願いいたします。



## 同窓会の 「交流会支援制度」に お世話になっています

先端経営学科  
22期生 河合 元



平成26年度卒、経営情報学部 先端経営学科22期生の河合元と申します。現在、リコージャパン株式会社 新規事業本部 社会インフラ事業部に所属し、弊社の新規事業である電力販売の担当をしています。現在、この会社に勤めて4年目、今年の10月に現在の部署に異動してきました。リコージャパンは、複合機の会社と思われるがちですが、実際は、プロジェクターや電子黒板、ネットワークや基幹システムの構築など様々な事業を行っており、私の部署もその中のひとつになります。以前所属していた部署では、情報大学の教授にご協力いただきまして、「音波を利用した学生支援アプリ」の臨床実験に関わっていました。これは音波ビーコンと携帯端末のアプリを利用して、学生の出欠確認など、より学習しやすい環境の構築を計る取り組みです。仕事として母校に行くのは何とも不思議な気持ちでありましたが、毎年、後輩が弊社に入社していることもあり、卒業後も母校は身近なものとなっています。



電力販売サービス



太陽光発電O&Mサービス



リコーAEDサポートパック



EV充電器のトータルサポート

リコージャパン株式会社 事業のご紹介

話は変わりますが、私は2年前から「北海道情報大学ボウリング交流会」という名称で、定期的に卒業生や在学生に声をかけて交流会を開いています。今までに4回(小規模な集まりも含めれば、15回)ほど開催しています。交流会を立ち上げたきっかけとなったのが、2年前に行われた同窓会(総会・懇親会)です。3年に一度集まる同窓会に多くの卒業生が集まったにも関わらず、たった一度の縁だけで終わってしまうのは「もったいない」と感じたからです。お陰様で今回のボウリング交流会には12名の方々に参加していただき(初回の開催から集計すると延べ200人程度)、この会を開いた当初は予想もしていなかった結果に大変うれしく思っています。

この会に欠かせないのが、同窓会が行う「交流会支援制度」です。目的は「社会人と学生、または見知らぬ人との壁を低くすること」です。やはり、社会人になっても初めて会う人と食事をするのは緊張してしまうものです。それは、学生となれば尚の事です。この交流会は卒業生だけでなく「在学生と卒業生のつながり」も目的にしています。よって、学生の参加も重要な要素となっています。学生の負担を軽減する目的として、「交流会支援制度」を利用しています。参加費の軽減はもちろんの事、参加者と早く打ち解けられるようなミニイベントの実施費用の軽減が主な使い道です。まだまだ知名度も低く、在学生の参加は2〜3人程度ですが、回を重ねていく事で学生の参加者も増えてくれればと思っています。

このような制度を利用することにより、同窓会のような定期的なイベントだけではなく、各個人が能動的に交流会を開けるような環境が整えば良いと思います。そして、ゼミやサークル等の小さな輪にとらわれない、もっと広い情報大学の輪が広がっていけば良いと考えています。

このような制度を利用することにより、同窓会のような定期的なイベントだけではなく、各個人が能動的に交流会を開けるような環境が整えば良いと思います。そして、ゼミやサークル等の小さな輪にとらわれない、もっと広い情報大学の輪が広がっていけば良いと考えています。



ボウリング交流会後の懇親会

## 「交流会支援制度」ご活用ください!

今回の会報で河合様がこの制度について触れてくれています。本会では会員の皆さんの交流を支援する「交流会支援制度」を行っています。「大学の友人とは卒業以来合っていない」「サークルのOB会をしたい」「お世話になった先生と食事がしたい」などと思っている方。この制度はそうした同窓生の背中を後押しする制度です。

お正月やお盆の時に活用するのも良いですね!是非ご活用ください!旧友や恩師と再会し、思い出話に花を咲かせてみませんか。

● 申込方法など詳しくは同窓会Webサイトをご覧ください。



## 「大学との意見交換会」開催報告

例年、蒼天祭開催日に合わせて開催しております「大学との意見交換会」を今年も蒼天祭初日の10月7日に開催致しました。

澤井学長から「情報大は元気です!」と本学の取り組みについてご紹介いただいた他、昨年度寄付を致しました「北海道情報大学教育研究振興募金」の用途についてご説明いただきました。

今回の意見交換会では、大学側から我々同窓会に対する具体的な貴重なご意見ご提案を頂戴し、終了後の懇親会も含め、大変有意義な時間だったと感じています。

なお、本意見交換会では、本会として今年度も「北海道情報大学教育研究振興募金」に対する寄付を行うことを伝え、澤井学長に目録をお渡ししましたので、この場をお借りして会員の皆様にご報告いたします。

本学は来年、開学30周年を迎え、一期生が卒業してから四半世紀が経過しようとしています。大学を取り巻く環境が大きく変動する中、今後ますます本学との連携を強め、母校と会員の皆様の発展のために力を尽くしていく所存です。





## 第29回 蒼天祭を終えて

学生実行委員会 委員長

医療情報学科 3年

石丸 暢人

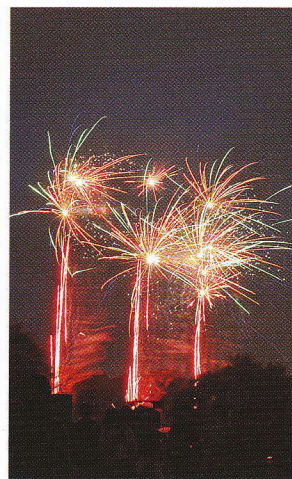


10月7日(土)、8日(日)に本学の大学祭である蒼天祭が開催されました。

今年度は、1日目の後半に少し雨が降りましたが、2日目は風もなく、過ごしやすい気候となりました。過去2年の蒼天祭は、大雨や凍えるような寒さに見舞われていたので、今年は天候に恵まれました。また、今年度の来場者数は約2000人で、本当に沢山の方にお越しいただきましたことを大変嬉しく思います。

さて、今年度の蒼天祭テーマは「ADVENTURE」でした。本テーマには「蒼天祭という冒険を通して何かを見つけられるようなお祭りにしたい。また、実行委員会生や模擬店を出す情報大生が作り上げた蒼天祭をお客様にも存分に冒険して欲しい」という意味が込められていました。実行委員会では、蒼天祭を通じて沢山の新しいものを見つけることが出来ましたが、蒼天祭に協力してくださった在学生、教員、職員の方々や同窓会の皆様方、そして足を運んでくださったお客様にも何か新しい発見などがあった蒼天祭であれば幸いです。

今年度は、So-tenLiveに「オクラホマ」「綾野ましろ」のお二人にお越しいただきました。前半に、オクラホマさんにトークや漫才、ショートコントなどを行っていただいた後に、綾野ましろさんによるライブが行われ、会場の松尾記念講堂はとても盛り上がりしていました。Liveが終わった後は抽選会を行い、5名の方にサイン色紙



のプレゼントをしていただくなど、最後まで楽しんでいただけるSo-tenLiveになったのではないかと考えております。

また、今年は特別企画として「PERFORMER☆KEITA」「時雨」をお呼びして、スペシャルパフォーマンスを行っていただきました。PERFORMER☆KEITAさんは、7日(土)にお越しいただきました。雨天のため、急遽体育館のサブステージでのパフォーマンスを行っていただきました。華やかなパフォーマンスだけでなく、軽快なトークで会場を盛り上げていただきました。時雨さんは8日(日)にお越しいただきました。メインステージでのディアボロのパフォーマンスで沢山の観客の視線が釘付けになっていました。

そして、毎年恒例の蒼天大花火は今年度も無事に打ち上げることが出来ました。今年度は去年を上回る寄付金をいただき、本当に沢山の教職員や卒業生、同窓会の方々の支援があり、打ち上げを行うことが出来ました。花火のフィナーレでは、沢山の花火が一度に打ち上げられ、情報大学の空に幻想的な光景を目にすることが出来ました。

他にも、YOSAKOIやBINGO大会など、盛り上がる企画が沢山あり、賑わう様子を見ることが出来ました。

今年も蒼天祭を無事に終えることが出来たのは、同窓会や教職員の皆様、模擬店・展示を運営してくださった学生の皆様、OB・現役の学生実行委員会生、そして何よりも蒼天祭にお越しくださった来場者の皆様のおかげです。この場をお借りして御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

## TOPICS

### 「北海道情報大学同窓会入学奨励金」のご案内

今年度入学生から適用を開始しました「北海道情報大学同窓会入学奨励金」。この制度は、本会会員のご家族が本学に入学した場合、入学後の手続きにより入学金相当額を上限として入学奨励金を給付する制度です。

初年度の今回は8件の申請があり、全員の給付を決定。既に入学奨励金の給付を終えたことをご報告いたします。

来年度、大学進学を検討されているご家族がいらっしゃる場合は、ぜひ母校の受験をお勧めいただき、入学された際には本奨励金の申請をお願いいたします。

●申請方法等詳しくは同窓会Webサイトをご覧ください。

### 同窓会主催の交流会を実施します

既に同窓会Webサイトに掲載していますが、同窓会主催の交流会を2月5日(月)に野幌で開催します。これまで本会が行う懇親会は総会と合わせて実施する3年に1度だけでした。その度に「3年に1度は少ない」「毎年実施しないの?」との声が寄せられていました。今回の交流会はそうした声にお応えするものです。同窓生なら誰でも参加できます。友人・恩師を誘ってご参加ください!

●申込方法等詳しくは同窓会Webサイトをご覧ください。

### 「同窓会ホームカミングデイ2017」開催報告

今年で3回目の開催となりました「同窓会ホームカミングデイ2017」。たまには母校に帰ってきてほしい、蒼天祭にたくさんの人に来てほしいとの思いから始めたものですが、大きな広報はしていないものの、ジワジワ浸透してきております。

ご家族や友人と来場された方、道外から来られた方、10年程前の蒼天祭実行委員会のメンバー(今回の会報表紙)など本当にたくさんの方が来場してくれました。今年は2日間延べ130名にご来場いただきました。ご来場ありがとうございました。来られなかった同窓生の皆さん、来年は帰っておいで。母校があなたの帰りを待っています!

